


皮膚・排泄ケア認定看護師

Certified Nurse in Wound, Ostomy, Continence Nursing


活動内容

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡や慢性下腿潰瘍などの「創傷」、「ストーマケア」、術後尿閉や排便障害などの「失禁」の看護において専門的な知識や看護技術を駆使して直接ケアを提供し、入院、外来を問わず患者さんと家族の支援を行っています。皮膚・排泄ケアの対象は様々な診療科や年齢層に渡るため、その活動範囲は広く、院内外が多職種と協働したり組織横断的チーム活動を行い成果を上げています。教育活動では、サージカルテープの正しい選択と使い方・ストーマケア・スキンケア（軟膏などの塗り方）・導尿など、実践に即したハンズオンセミナーや、地域の医療・看護職と一緒に学ぶ「公開講座 褥瘡」を褥瘡対策チームのメンバーと毎年開催しています。

認定看護師としての醍醐味



私が小児病棟に思い切って異動して一から小児看護を勉強しなおしたのは認定看護師になったばかりの頃です。その時に会った小さい赤ちゃんが今は成人して社会人になり、時々私の外来に訪ねてくるようになりました。その成長を喜び、排泄障害をもって生きていくことの難しさに悩み、これからもささやかなエールを送り続けることが醍醐味なのかもしれません。



下肢慢性創傷をもつ人との長い支援を通して、看護は生活の中で続けるケアを考えることであると患者さんからたくさん学びました。その学びを、ガイドラインやエビデンスに加えて生活者としての視点を持って入院、外来で看護を展開できることが醍醐味です。

排尿ケアに関わって、スタッフの時にはあまり気がつかなかった患者さんの障害に対する気持ちを知り改めて排泄の障害が人間の尊厳をも損なう事を実感しています。できるだけその患者さんが排泄の障害があっても社会的に自律していけるように支援し、患者さんが少しでも「何とかやってるよ」と言ってもらえる時などが自分の励みになっています。

